

# CENTENARY

2009. 6. 1  
第 25 号  
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成



美術部は、加古川再開  
発ビル(株)の依頼を受け  
加古川駅前サンライズビ  
ル1階の南北通路(ミス  
タードーナツの裏に、高  
さ約2m・横幅約11mの  
巨大壁画を制作しまし  
た。テーマは「加古川」。  
当地の名所・風土や名代  
の食文化等、部員による  
念入りのエスキース(ア  
イデアスケッチ)を活か  
しながら、4カ月もかけ  
た大作として完成させる  
ことができました。

## 巨大壁画完成!

5月15日の除幕式は、  
樽本加古川市長はじめ、  
多数の関係者で盛り上  
がりました。  
壁画に目を向けなが  
ら通行される方々の笑  
みを湛えられた様子に、  
部員や関係者の間で安  
堵や喜びの声が交わさ  
れました。「明るさにパ  
ワーをもらった」という  
感想も寄せられました。  
加古川駅前の顔として  
見事な彩りを添えてい  
る本校生の作品をぜひ  
ご覧ください。



6月2日の5校時から  
6校時にかけて地震を想  
定した防災・避難訓練が  
行われました。まず地震  
発生の放送合図で、生徒  
は机の下へ潜って危険を  
防ぐ訓練をし、ついで、  
揺れが収まったという二  
度目の放送で、すぐに運  
動場に集合しました。  
放水訓練の後、「自覚に  
欠けた者がいれば、他者  
にも危険が及ぶが、その  
点本校は安心である。」と  
の校長訓話があり、加古  
川市消防本部からも、「極  
めて迅速な行動が取れ  
ただきました。」とお褒めの言葉をい  
ただきました。

## 防災訓練



正門を入って右手、北側  
の植え込みの中に大きな  
石を多く使って組み合わ  
せたものと、4個の石で組  
まれた長方形のものがあ  
ります。これは昭和38年  
頃に本校の旧職員が姫路  
の丁(ヨロ)古墳群から移  
設したものです。これは加  
古川市石造遺物調査票に  
も記載されています。  
大きな石組みは石室で  
はないかということです。  
小さな方は石棺で、底には  
もう一枚石が敷かれてい  
るらしい。

## 校内に遺跡が

**ちょっと一言** 昨今、人間関係の希薄さが高じて、崩壊に向かいつつある。挨拶や返事、問い掛けや質問に対する返答、道での譲り合い等で自然に交わされる言葉、さりげないアドバイスなどに対する対応、初めて出会う人への対応等々、時と場合にふさわしいマナーすら身に付いていない人が確かに増えてきている。まずは、大きな声での挨拶、「はい・いいえ」の明瞭な返事、「ありがとう」「すみません・ごめんなさい」を意識して使ってみませんか。